◎　資　料

1　学術論文一覧（令和２年３月31日時点）

1）エコチル調査全国データを用いた学術論文

	タイトル	著者名	雑誌名
1	The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study（JECS） （母体年齢が初回分娩における妊娠週数，出生体重に与える影響（エコチル調査））	経塚　標　他	Journal of Epidemiology. 29巻187-191頁 2018年
2	Risk of preterm birth, low birthweight and small for-gestational-age infants in pregnancies with adenomyosis: A cohort study of the Japan Environment and Children's Study. （子宮腺筋症が分娩週数，出生体重に与える影響（エコチル調査））	山口　明子　他	Acta Obstet Gynecol Scandinavica. 98巻359-364頁 2018年
3	Effect of proinflammatory diet before pregnancy on gestational age and birthweight: The Japan Environment and Children's Study （向炎症食が妊娠週数、出生体重に与える影響について）	石橋　真輝帆　他	Maternal & Child Nutirtion. 16巻e12899. 2020年
4	Risk factors for placenta accreta spectrum: findings from the Japan environment and Children's Study （エコチル調査データを用いた癒着胎盤のリスク因子についての検討）	経塚　標　他	BMC Pregnancy Childbirth. 19: 447. 2019年

2）追加調査学術論文

	タイトル	著者名	雑誌名
1	Earthquake and nuclear power plant accident; an adjunct study in Fukushima Regional Center of the Japan Environmental and Children's Study（JECS） （東日本大震災と原発事故後の福島市における新生児館の発達障害の研究：エコチル調査福島ユニットセンターの追加調査）	板垣　俊太郎　他	Fukushima Journal of Medical Science. 65巻1-5頁 2019年
2	Association Between Neutralizing Antibody Titers against Parechovirus A3 in Maternal and Cord Blood Pairs and Perinatal Factors （パレコウイルスＡ３型に対する母体血、臍帯血の中和抗体価と周産期因子との関連）	清水　裕美　他	Journal of the Pediatric Infectious Diseases Society. piz029. 2019年

２　業務全般に関するPDCAサイクルにおける取組状況

（平成31年４月～令和元年９月末時点）

※エコチル調査令和元年度年次評価のために環境省に提出したもの

（Ｐ）計画	**福島ユニットセンター指標：** 「各業務において参加者とのコミュニケーションにより積極的に取り組み、現参加者の減少率を年１％以内にとどめる。」指標達成のため、次の項目に取り組む。 **１　参加意識の維持及び向上** **⑴　「子育て講演会＆ファミリーコンサート」及び「ふれあい会」の開催** ・　参加者との“顔の見える”関係づくりを行う。 ・　参加者の関心や参加児の成長に合わせた催しを開催する。 ※「子育て講演会＆ファミリーコンサート」（年１回） ※「ふれあい会」（年５回）：学童を対象としたキッズダンス、森のクラフトと野外遊び、ミニ土器・はにわ作り、風船ロケット作りなど **⑵　環境セミナーの開催（年１回）** ・　環境問題をエコチル調査参加者が“一緒に学び合う”機会とする。 **⑶　謝礼（nanacoポイント）の確実な受け取りのための取組強化** 謝礼のnanacoポイントが失効したことによる、エコチル調査協力取り止めが発生した事例を踏まえ、以下のとおり取組を強化する。 ・　謝礼のnanacoポイントが失効する可能性のある参加者のリストをnanacoカード会社より受け取り、当該参加者へハガキを郵送し電子マネーへの交換を促す。 ・　送付用封筒及びプレゼント用カレンダーへの案内印字、ニューズレター及びホームページ、対面で行う各イベント、学童期検査、詳細調査にて、nanacoカードの利用方法、ポイントの有効期限等について周知する。 **２　学童期検査初年度目標達成に向けての取組** ・　学童期検査対象者の意向を踏まえた実施体制を構築する。 ・　検査実施率50％以上を達成し、かつ参加者とのコミュニケーションをより深くする。 ・　学童期検査について評価を行うため、参加者及び実施者にアンケートを行う。 **３　詳細調査をより受けやすい環境づくりへの取組** ４歳詳細調査の欠測数が増加しており、その理由として仕事の都合や検査曜日時間に都合がつかないなど日程が合わないことが大半を占めている。昨年度に行った参加者アンケートの結果を踏まえ、以下に取り組む。 ・　県内各地域の個人医院に協力いただき、実施医療機関を増やして検査を行う。 ・　日程調整方法を変更し、参加者が医療機関・検査日を選択し、書面にて回答できるようにする。また、６歳医学的検査内容説明資料を同封し、検査への理解を促す。 **４　質問票回収状況の対策** **⑴　小学１年生及び８歳質問票返送者へのプレゼントキャンペーンの実施** ・　質問票返送率の維持及び向上を目的として、上記の質問票を両方返送した参加者に、リストの中から選択していただきプレゼントを郵送する。

	⑵　**ニューズレター転送不要の実施** ・　現住所へ確実に質問票を送付できるよう、ニューズレターを転送不要で郵送し、宛先不明で返送された場合は、速やかに参加者へ連絡し、転居先を確認する。 ・　転居先を確認できない場合は、リクルート時の同意に基づき、自治体へ住民票照会を行う。 **５　エコチル調査の安全な実施に向けての取組** ⑴　**職員研修の実施（年２回）** ・　調査の進捗やリスク管理、個人情報管理、その他その時期のトピックについて行う。 ⑵　**「エコチル調査個人情報管理マニュアル」の改定** ・　「エコチル調査における個人情報管理に関する基本ルール」の改正に伴い、当ユニットセンターで作成している「エコチル調査個人情報管理マニュアル」を改定し研修を行う。
（Ｄ）実施	**１　参加意識の維持及び向上** ⑴　**「子育て講演会＆ファミリーコンサート」及び「ふれあい会」の開催** ①「子育て講演会＆ファミリーコンサート」（日曜日開催）：来場者252名 ・　子育て講演会内容：「アレルギーって何？正しい理解と正しい付き合い方」 ・　ファミリーコンサート内容：「中川ひろたか＆鈴木翼ジョイントコンサート」 ②「ふれあい会」（計２回実施：2019年９月末時点） ※残り３回のイベントを今年度中に開催予定 ・　「森のクラフトと野外遊び」（日曜日開催）：参加者62名 ・　「キッズダンス」（日曜日開催）：参加者42名 ⑵　**環境セミナーの開催** ・　環境セミナーテーマ：「地球温暖化が進むと何が困るの？」（2019年10月に開催予定） ◎今回は新たに、講義の後、一緒に学び合うことを主眼にグループワーク形式で参加者が意見を出し合い、環境問題について話し合うことを想定している。 （昨年度は「外来種ってなあに？」というテーマで行い、30名が参加した。参加者アンケートでは、100％が「よかった」又は「まあまあよかった」と回答した。） ⑶　**謝礼（nanacoポイント）の確実な受け取りのための取組強化** ・　謝礼のnanacoポイントが失効する可能性のある参加者に年度末、電子マネーへの交換を呼びかける案内ハガキを郵送する予定である。 （昨年度は、568通の案内を郵送し、問合せ件数は、前年の1.6倍であった。） ・　送付用封筒やカレンダーへの案内印字、ニューズレターやホームページ、対面で行う各イベント、学童期検査、詳細調査にて、nanacoカードの利用方法、ポイントの有効期限等について周知を行った。 **２　学童期検査初年度目標達成に向けての取組** ・　昨年度に実施した学童期検査対象者へのアンケートを踏まえ、①案内方法の工夫（学童期検査内容説明資料の同封）②予約方法の工夫（Web及び郵送で実施）③検査日程の工夫（長期休み及び週末、その他希望に

	合わせての個別対応)④同伴児への配慮(同伴可能、環境設定)を行い、参加者が協力しやすい体制を構築した。 ・ 936名を対象として2019年９月末時点で、34日間延べ36回(集団及び個別を含む)、460名に検査を実施した。実施率は47.8％である。８月以降、約400名の未予約者へリマインド(ショートメール及び郵送)を行い、リマインド前と比較し、9.5％の応諾率増加が認められた。なお、９月末時点の応諾率は54.8％である。今後、10月～11月にかけて５日間を設定している。 ・ 学童期検査について評価を行うため、参加者及び実施者にアンケートを行っている。 **３　詳細調査をより受けやすい環境づくりへの取組** ・ 今までの11医療機関に加えて、県内各地域の個人医院に協力いただき、32医療機関に増やし、2019年９月末時点で154件の医学的検査を実施した。 ・ ①検査日程及び医療機関を記載した案内、②６歳医学的検査内容説明資料(４歳までの採血に関する保護者アンケート集計結果を含む)を郵送し、参加者に検査日程及び医療機関を選択いただく形で日程調整を行った。 **４　質問票回収状況の対策** **⑴　小学１年生及び８歳質問票返送者へのプレゼントキャンペーンの実施** ・ 上記の質問票を両方返送した参加者に、保護者向け又は子ども向けプレゼントリストから選択していただき、2019年９月末時点で100件以上のプレゼントを郵送した。 **⑵　ニューズレター転送不要の実施** ・ ニューズレターを転送不要で郵送し、2019年春号は149件、夏号は179件が返送された。うち、春号は116件、夏号は117件が電話連絡等により住所が判明した。 ・ 転居先を確認できない場合は、リクルート時の同意に基づき、2019年春号が20件、夏号が40件の住民票照会を行った。残りの件数については継続して対応を行っている。 **５　エコチル調査の安全な実施に向けての取組** **⑴　職員研修の実施(年２回)** ・ 各調査進捗の共有やリスク管理、個人情報管理についての振り返りを行い、前期は「コミュニケーションについて」外部講師を呼んで研修を行った。後期は今後実施予定である。 **⑵　「エコチル調査個人情報管理マニュアル」の改定** ・ ユニットセンター全体での検討を７回積み重ね、「エコチル調査個人情報管理マニュアル」を改定した。２日に分けて全職員を対象にマニュアル改定の研修を行った。
(C)評価	**１　参加意識の維持及び向上** **⑴　「子育て講演会＆ファミリーコンサート」及び「ふれあい会」の開催** ①「子育て講演会＆ファミリーコンサート」 参加者アンケートを行い、86％以上が「満足」又は「やや満足」と回答した。なお、今年度は会場内で過ごすことが難しい親子も安心して講演会やコンサートを楽しめるよう、会場外にキッズスペース及びモニターを設置した。参加者アンケートにおいて、その点でも好評を得ており、参加者のニーズに

合わせたイベントの開催ができたと考えられる。

②「ふれあい会」

参加者アンケートを行い100％が「満足」又は「やや満足」と回答した。保護者の休日に開催日程を合わせ、子どもの成長に合わせたイベントを開催したことにより、特に「森のクラフトと野外遊び」は、保護者の41％が父親の参加であり、家族全体でエコチル調査への関心を高めるイベントを開催できたと考えられる。

⑵　環境セミナーの開催（今後開催予定）

2019年10月に開催する環境セミナーにおいても参加者アンケートを行い、特にグループワーク形式で実施する取組についても評価を行う予定である。

⑶　謝礼（nanacoポイント）の確実な受け取りのための取組強化

・　今年度は、nanacoポイントが失効する可能性のある参加者のリストをまだ得られていない。今後リストを得られた後、前年度リストと紐付けて、案内ハガキ郵送の効果について検証する予定である。

・　今年度の全体の問合せの内、謝礼に関するものが61％、99件寄せられている。様々な方法での周知により、謝礼に対する参加者への意識づけができたものと考えられる。

２　学童期検査初年度目標達成に向けての取組

・　参加者が協力しやすい体制を構築したことにより、「予約がしやすかった」「子どもへの説明がわかりやすかった」などの声が寄せられている。今後、参加者アンケートの集計結果も含めて、総合的な評価を行う予定である。

・　リマインドを実施後、予約件数の増加が認められ、2019年10月～11月の予約件数を含めると応諾率が54.8％と目標達成が見込まれる。

・　参加者アンケートは集計途中であるが、自由記載欄に「スタッフが親切で安心できた」との声が多く寄せられており、当ユニットセンターのモットーである“顔の見える”関係の中で、よりよい関係づくりができたものと考えられる。一方で、「尿検査やコンピューターの検査の結果がもらえると思っていた」との声も寄せられており、その点での説明資料の改善は必要である。また、実施者アンケートも今後集計し、来年度以降の対象人数の増大に伴う実施体制の課題について、ユニットセンター全体で検討を行う必要がある。

３　詳細調査をより受けやすい環境づくりへの取組

・　個人医院に協力いただき32医療機関で医学的検査を実施したところ、１次抽出（完了）での実施率が４歳90.2％から６歳92.2％へと増加し、欠測率減少に効果が認められた。また、参加者アンケートの結果、76.8％が検査協力しやすくなったと回答した。

・　日程調整を郵送による回答に変更したところ、89.0％が日程調整しやすくなったと回答した。また、採血に関する保護者アンケートの集計結果を説明資料として同封したところ、その結果を見て採血への不安が軽減され「参加協力しようと思う」と日程調整に応じた保護者もおり、今回の取組が参加率の向上に繋がったと考えられる。

４　質問票回収状況の対策

⑴　小学１年生及び８歳質問票返送者へのプレゼントキャンペーンの実施

・　今後、各質問票における返送率との差を算出し、効果を検証する予定である。（台風による影響で質問票の発送や返送依頼を遅らせていることもあり、今後実施予定）

・　選択されたプレゼントの74％は子ども向けプレゼントであった。“子どものために”というエコチル調査参加者の意識の高さが伺える。プレゼントの選定内容についても、今後は子ども向けのものを中心に行っていく予定である。

⑵　ニューズレター転送不要の実施

・　転送不要により、質問票返戻件数は毎月１桁台に減少し（表１）、効果が認められた。

・　ニューズレター返送による参加者への住所問合せ件数は、各号100件以上と業務負担になっている部分があり、問合せ方法については、今後も実施方策の検討が必要である。

表１　質問票返戻件数の推移

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
2018年９月30日時点	7	14	10	15	5	13	64
2019年９月30日時点	1	2	6	2	0	0	11

５　エコチル調査の安全な実施に向けての取組

⑴　職員研修の実施（年２回）

今年度前期は、コミュニケーションについて研修を行った。“自分のタイプ”や“タイプに応じたコミュニケーション”について学ぶ機会となったとの声が寄せられており、スタッフ同士の連携や参加者とのコミュニケーションのあり方に有用な研修となったと考えられる。

⑵　「エコチル調査個人情報管理マニュアル」の改定

全職員を対象に研修を行ったことにより、今まで以上に意識して個人情報保護に取り組むようになった。特に新規で行う学童期検査は、事務所外で個人情報を扱う機会が増えるため、より厳重に個人情報を管理する土台ができたと考えられる。

【総合評価：指標に対する評価】

ユニットセンター全体として、参加者とのコミュニケーションをより積極的にする上記の取組を行ったことにより、年間の現参加率の減少は1.0％と目標を達成することができた（表２）。

表２　現参加率の推移（2018／９末時点及び2019／９末時点）

	出生数※1	転出者数（延べ人数）※2	転入者数（延べ人数）	転出入調整出生数※3	打ち切り（延べ人数）	現参加者数	現参加率（転出入調整）現参加者数÷転出入調整出生数
2018年９月28日時点	12,867	71	116	12,912	453	12,459	96.5％
2019年９月27日時点	12,866	150	122	12,838	583	12,255	95.5％

※１　出生数：2018年11月 出生数確定データクリーニングにて１名減
※２　転出者数増加：県外参加者の他ユニットセンターへの移管促進（←全国での学童期検査実施率向上を目的として）
※３　転出入調整出生数：出生数－転出者数＋転入者数

（A）改善

１　参加意識の維持及び向上

各調査業務の拡大に伴い、多くのイベントを開催することは難しくなっている。参加者アンケートを集計して参加者ニーズと提供内容とが合致するイベントを検討し、“顔の見える”関係づくりやエコチル調査へ関心を持ち続けてもらえる取組を行っていく。「環境セミナー」については、新たに行うグループワーク形式での取組を評価し、今後のリスクコミュニケーションのあり方を検討していく。

２　学童期初年度目標達成に向けての取組

学童期検査内容説明資料の改善（結果返却内容等）を行い、より参加者が理解して検査を受けることができる体制づくりを行う。また、当ユニットセンターでは、来年度以降の対象人数増大に伴う実施体制の構築が大きな課題と

	なっており、外部委託及びスタッフの業務分担の見直し等を行い、より安全で効率的な実施体制を検討し、計画を策定する。 **３　詳細調査をより受けやすい環境づくりへの取組** 医療機関の拡大に伴い、より医療機関との関係づくりや連携を密に取っていくことの重要性を感じる。医療機関との信頼関係を深め、エコチル調査としての取組やルールの理解を促しながら、参加者がより安心して調査に参加できる環境づくりを行っていく。 **４　質問票回収状況の対策** プレゼントキャンペーンの効果については、今後評価し検討を行っていく。ニューズレターの転送不要については、より効率的な住所確認等、実施方策を検討していく。なお、質問票返送率低下への対策については、PDCAによる取組をより強化する。 **５　エコチル調査の安全な実施に向けての取組** 限られた人数の中で各調査業務を安全に行っていくためには、各調査業務の共通理解及びリスク管理、個人情報管理についての共通認識が重要である。今後もユニットセンターが一丸となって各調査業務に臨めるよう、その時期のトピックも含めて全職員への研修を続けていく。

3　ニューズレター：2019年夏号（令和元年６月発行）

ニューズレター：2019年秋号（令和元年９月発行）

エコチル★ふくしま通信

秋号

エコチル調査 親として医師として

西郡秀和

おわびと訂正

登録内容変更届が新しくなりました

子育て講演会&ファミリーコンサート開催しました

学童期検査（小学2年生）がはじまりました！

ひとりで留守番！のみかたとそのあと

気管支喘息と呼吸器感染症

8歳食事調査結果返却のお知らせ

乳歯調査ハガキご返送のお願い

千葉・神奈川にお住まいの皆さまへ

ニューズレター：2019年冬号（令和元年12月発行）

お知らせ

令和元年10月20日に行われた
エコチル☆ふくしま環境セミナーでの講演をいただきました。
当日お越しいただけなかった方も是非ご覧ください。
エコチル調査福島ユニットセンターでは、いろいろなイベントを企画していきます。
皆さまのご参加をお待ちしております。

エコチル☆ふくしまホームページにも、当日の内容が掲載されています。こちらもぜひご覧ください。

地球温暖化が進むと何が起きるの？

横山 俊太

2020年3月末に有効期限が切れてしまうポイントがあります！お早めに電子マネーに交換してください！

nanaco

透明のnanacoカードとの違い

4がつに しょうがくせいになるおともだちへ

エコチル☆ふくしま通信

冬号

エコチル調査による因果関係の証明 ～みなさんが一番知りたいこと～

2011年1月に開始されたエコチル調査は、参加者、そして関係者の皆さまの温かいご支援により、ちょうどあと1年で9年となり、そして10年目を迎えます。今年は小学2年生を対象とした学童期検査が始まり、いよいよ終盤にさしかかってきました。

現代医学におけるエコチル調査の重要性についてあらためて考えてみましょう。ヒトの病気に関する医学は「治療医学」と「予防医学」に分けることができます。「治療医学」とは病気を治すことであり、皆さんも想像しやすいと思います。「治療医学」ではカラダのなかでどのようなことが起こっているのか（病気のメカニズム）を調べ治療に結びつけます。他にはカラダの機能を調べます。一方「予防医学」とは病気にならないようカラダをつくり、健康を保つという考え方です。「治療医学」とは異なり、病気の原因と結果（因果関係）を明らかにすることから始まります。

例えばタバコを考えてみると、タバコに含まれるタールもしくはその他の物質がどのように肺の機能を変化させ、そして病気になるのかを明らかにし治療に結びつけるのが「治療医学」です。一方で、妊婦さんがタバコを全く吸わない場合にくらべ、一日5本、一日10本、一日20本吸い続けた場合、母乳、子どもの生まれる病気の発症がすべれば、A群、B群、C群に確定する。あくまは、母乳その妊婦さんが別の病気になる確率がA%、B%、C%であるということを明らかにし健康増進に結びつけるのが「予防医学」です。

タバコを用いた例をあげましたが、妊娠者のカラダ自分のこと、あなたは子どもの事でもいたいのは「病気のメカニズム」でしょうか、それとも「将来のリスク（因果関係）」でしょうか。「いかに病気にならないか」を考えることが一番知りたいことではないかと思います。その情報を届けるのがエコチル調査です。

この度の台風19号およびその後の大雨により被害を受けられた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

また、直接の被害を受けられなかった皆さまにおいても様々な影響がおこっていることを申し上げます。

一日も早く復旧されますことをこころよりお祈り申し上げます。

住所が変わった、質問票やnanacoカードがなくなってしまったなど、その他ご不明な点は福島ユニットセンター各事務所へお問合せください。（平日 9:00頃～17:00頃）

◎郡山・相馬地域にお住まいの方
024-547-1449（福島本部事務所）

◎会津・南相・会津・いわき地域にお住まいの方
024-983-4780（郡山事務所）

Pickup!

エコチル☆ふくしま 研究センターを見学しました

今年は、私たちの身近に迫ってきている「地球温暖化の影響」をテーマに、福島に国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター主任研究員 横山俊太先生をお招き、「地球温暖化が進むと何が起きるの？」と題して、スライドを用いたわかりやすい講演とワークショップが行われました。

ご来場の皆さまからは「温暖化についてのお話が理解できました」や「日常生活を見つめ直す良い機会になりました」との感想をいただきました。

参加された皆さま、誠にありがとうございました。

学童期検査（小学2年生）が始まりました！ その2

＜会場での検査について＞

令和元年度の学童期検査は、皆さまのご理解ご協力により無事終了しました。
令和元年 11 月 30 日現在、529 名の小学2年生のご協力いただきました。また、ご都合により協力いただけなかった皆さまからもご連絡いただきました。これからもよろしくお願いいたします！

今回の報告では、学童期検査の内容、そして、ご協力いただいた保護者の皆さまに回答いただいたアンケートの一部をご紹介します。これから、検査にご協力いただく皆さまのご参考にしていただければと思います。

学童期検査の内容

検査にかかる時間（のべ）からは、およそ50分～60分です。

❶受付 ❷身体計測 ❸コンピューターを使った精神神経発達検査 ❹終了時受付

受付で、ご自分からお名前などを記入（記録）していただきます。
保護者の皆さまにおそくさんにそれぞれ検査のご説明をします。
おそくさんには、スタンプラリーのカードを渡し、ゲーム感覚でスタンプを集めていただきます。

身長・体重を測った後に、検査室に移動します。

パソコンを使った検査は、脳の機能と、集中の力を測定します。
スタッフと一緒に練習してから始めますので、パソコンを使ったことのない小学2年生も取り組むことができます。

身体計測の記録をお渡しします。おそくさんにはエコチル調査からのプレゼントを用意しています。

検査についてのご意見・ご感想

— 検査について —

- ★スタンプラリーなど、子どもが飽きずに、楽しめるような工夫が多くてよかったです。
- ★子どもが自分の問題点がよかったです。
- ★混み合っていなかった、待ち時間が少なくて、よかったです。
- ★おいしそうだいを選んでもらえ、ぬいぐるみなどもいただいたことができて助かりました。
- ★お友達が、検査に協力して楽しかったと聞いて、子どもが行きたいと言っました。
- ★子どもが「検査」と聞くと、少し不安がるので、楽しい雰囲気ができればと思いました。

— スタッフの対応について —

- ★スタッフさんたちが、笑顔でとてもよかったです。
- ★子どもは、はじめ、緊張していましたが、やさしく声かけをしてくれていたので、安心して検査を受けることができたと思います。
- ★検査というと、怖やとしているイメージだったのですが、親切、丁寧な対応で親子ども喜ぶできました。

— その他 —

- ★採検査、精神神経発達検査の結果が説明に対応が分かりやすい、親切に思いました。

ふしぎ？ 発見！ ゆめ・ときめき・こころ

小児のアトビー性皮膚炎

鈴木 重雄 先生

Q 私事をひいてクリニックに行ったら、アトピー性皮膚炎と言われました。

A アトピー性皮膚炎は、かゆみのある皮膚が良くなったり悪くなったりを繰り返す皮膚の病気のことで、アレルギー体質の子に多く見られます。この子たちによく見られる皮膚の乾燥、いわゆるドライスキンは皮膚のバリア機能が低下している状態です。刺激に敏感で、ダニや金物などの異物も体内に侵入しやすくなります。かゆみ刺激でかゆくなり、掻くと皮膚が刺激され、さらにかゆくなる、という悪循環を繰り返します。皮膚がきれいになって治まるまでは、皮膚の乾燥、いわゆるドライスキンは皮膚のバリア機能が低下しているから、そこはアトピー性皮膚炎が起こりやすい場所です。

原因は様々ですが、アトピー性皮膚炎は皮膚の炎症です。まずこの炎症を治すためにステロイド軟膏を使用します。原因の中は抗生物質ですが、皮膚炎ではステロイド軟膏がお薦です。1日に2～3回、先生の指示通りに塗ります。その後は塗る回数を減らしますが、なおったように見えても皮膚の表面にはまだ炎症が残っていることもあります。治療は原因、炎症を抑えるとともに、すぐに悪化するので、先生とよく相談して、治療を続けましょう。

また、アトピー性皮膚炎は全身に起こるので、健康そうな部位の観察も大切です。その場合はスキンケア、皮膚の手入れです。皮を柔軟に保つために、こまめに手洗いなども、お風呂では、石鹸を泡立てて、その泡で手の表面を洗い流しましょう。ゴシゴシこすらないことが大切です。そして1日に2～3回、保湿剤を丁寧に塗ります。このスキンケアを赤ちゃんの頃からやろう。アトピー性皮膚炎にならないこと、という場合もあります。なお、アトピー性皮膚炎は、原因は皮膚アレルギーとの関連がある子がいますが、将来になると食事の影響はさらくなるので、不必要な食事制限をしないようにしましょう。

エコチル ふれあい館

8月25日・8月26日

エコチル☆ふくしま参加イベント

9月29日 ファミリーフェスタ 2019（郡山市）
合同慰霊祭（相馬市）

郡山市

相馬市

プレゼントキャンペーン実施中！

ニューズレター：2020年春号（令和２年３月発行）

４　エコチルふれあい会の実施状況

ふれあい会は、福島のお子さんの成長をともに見守るための企画として平成25年度から開始した。ふれあい会は、スタッフにとって親子のふれあい・遊びの場や育児相談などを通じて、福島ユニットセンターのモットーである参加者さんとの「顔が見える」コミュニケーションを具体化できる貴重な機会として実施している。

（１）ふれあい会の様子とアンケート結果

アンケートは、参加者からふれあい会を含むユニットセンターが行っている事業についてのご意見をいただく貴重な機会であり、ふれあい会実施毎に実施している。いただいたご意見・ご要望は、参加者さんとのコミュニケーション活動計画や実施の改善に役立てている。ふれあい会に参加された94組を対象に、「本日のふれあい会に参加されていかがでしたか」と尋ねたところ、「満足」「まあまあ満足」と答えた方は93組であり、「ふつう」が１組だった。99％の方に満足していただいた結果となった。

令和元年度のそれぞれのふれあい会の状況とアンケート結果は次のとおりである。

１）キッズダンスを親子で一緒に楽しみました。

・もっと時間に余裕があるといいなと思う。
・県中地区（郡山）でもダンスのふれあい会を開催してほしい。
・親子で体を動かす良い機会になりました。ダンスが好きなので楽しんでいました。
・こどもが、ダンスを初めて経験できてよかった。
・ダンスはとても楽しく、久しぶりに体を動かせてよかったです。エコチルの先生に質問できる時間がほしかったです。
・とても広くきれいで、ここでよかったです。
・ダンスはもう少しテンポが遅い方が、子どもがついていけたのでは？
・ダンスは苦手なのですが、子どもと一緒ということで体を動かすことで楽しく参加でき、とっても楽しかったです。
・なかなか親子でダンスをする機会がないので、音楽に合わせて体を動かせるふれあい会は良かったです。

・キッズダンス２回目の参加です。先生の教え方とても分かりやすく、子どもも楽しくできました。また参加したいです。
・ダンスをやらせたいので、こういう企画は非常にありがたいです。
・体を動かすイベントは今後も参加したい。

２）森のクラフトと屋外遊び　自然の中で遊び、エコクラフトに取り組みました。

・外遊びがとても楽しかったです。
・森のクラフトではみんなで意見を出し合い、協力して、各々で楽しむことができました。外での遊びも、自然に親しみ、楽しんでいました。ブランコがお気に入りでした。
・楽しかったです。家族での工作、森遊び、なかなか家ではしないことなので、これがきっかけになればと思います。
・今回のように、土日にやっていただけるとうれしいですが、祝日だともっとうれしいです。
・初めて参加しましたが、自然の中で遊んだり、エコクラフト作りと楽しい時間でした。屋外遊びが楽しかった。丸ちゃん先生の話も良かった！
・自然の中でのレクリェーション的なもの、またあるといいなと思います。
・森のクラフト遊び、屋外のあそびどちらも楽しかったが、時間が短いと感じた。小学生で体力もあるので、お昼持参で10～14時くらいまでのふれあい会に、是非参加したい。
・森のクラフト（もう少し時間があると、よかったです）も外遊びも、とても楽しかったです。
・子供向けと大人向けを分けた方がいいと思います。

・クラフト終了時間を教えて欲しかった。前もって片付けの時間などを教えていただけたら、スムーズに外に移動できたかも。片づけをせかされた感じがあった。
・11：30までかと思っていました。外遊びの時間もっとほしかったです。自然の中での体験系のふれあい会の企画が、またあると良いです。
・もう少しゆっくり、作品作りたかったです。
・楽しかったです。

3）風船ロケットを作って遊びました。

・とても今後のためになる内容でした。また子供たちもロケット作りに楽しんでいました。初めての参加でしたが、また機会があったら参加したいです。
・興味をひかれる題材でとても良かった。（日）休みの日で参加しやすかったです。
・楽しい工作ができて良かった。
・風船ロケット、とても楽しめました。
・とても楽しかった。子供のためにもなったが、大人も勉強できて参加して良かった。
・風船ロケットは大人も子供も楽しめた。はさみを使って最初から最後まで本気になって取り組んでいた。
・今日のふれあい会、とても楽しかったです。風船ロケットを親子で作れて面白かったです。スペースパークの講師の実験も面白かったです。
・子供にとって科学に触れられる貴重な機会でした。
・とても楽しかったです。また参加したいです。
・子供が工作が好きなので、その機会を増やしてほしい。
・メディアにふれたお話でとても参考になりました。またスペースパークが大好きな子供たちは大喜びでした。
・子供が楽しんでいたので、参加して良かったです。
・工作も実験もとても楽しかったです。子供たちも興味津々でした。
・子供があきない工夫があって良かった。折り紙やこぼちるちゃん探し。
・とても楽しかったです。家ではできない科学の話など、とても貴重な経験をさせていただきました。

・子供たちがとっても楽しそうで良かった。
・楽しかったです。

4）ミニ土器やはにわを作りました。

・子供もすごく楽しんでいたので、またやってほしいです。
・いろいろ体験できるものが良いです。今回も親子共々楽しかったです。
・思い通りにできず、意外と難しかったようです。でも、面白い体験ができたと思います。
・子供が体験できるふれあい会を今後も希望します。
・土日に開かれるようになり、よかったです。
・幼児のみではなく、小学生の姉妹でも一緒に楽しむことができるような、今回のようなふれあい会は、とても参加しやすくて良いと思います。
・平日は共働きなので、土日の開催はありがたいです。ワークショップ前のお話はとても大事な内容でしたが、子どもたちがあきてしまっていました。講演会へはなかなか参加できず、でもお話は聞きたい…ので、事前に質問を集めて具体的にQ&Aなどすればいいのかもしれません。（私は、幼稚園で働いていますので、毎回このジレンマに悩まされます）
・子供と一緒に体を動かすことをやってもらいたいです。
・マイクの声が良く聞こえたので、先生方のお話が良く聞けました。橋本先生のお話、参考にします。
・子どもは楽しいととても喜んでいました。子どもと一緒に１つのものを作りながら、普段気がつかない部分を知ることができて良かったです。
・１人１個作れたらよかったと思う。
・楽しかった。

5　エコチル調査協力医療機関・施設一覧（令和２年３月31日現在）

１）産科協力機関（リクルート・妊娠・出産・出産後１か月調査）

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	
1	県北	日本赤十字社　福島赤十字病院	福島市	福島本部事務所	
2		明治病院	福島市		
3		いちかわクリニック	福島市		
4		ささや産婦人科	福島市		
5		新妻産婦人科	福島市		
6		本田クリニック産科婦人科	福島市		
7		済生会福島総合病院	福島市		
8		大原綜合病院	福島市		
9		福島県立医科大学附属病院	福島市		
10		大川レディースクリニック	福島市		
11		菅野産婦人科医院	福島市		
12		セイントクリニック	伊達市		
13		二本松ウイメンズクリニック	二本松市		
14		社会保険福島　二本松病院（旧名称）	二本松市		平成25年３月31日終了
15		渡辺医院	二本松市		
16		谷病院	本宮市		
17	県中	たなかレディースクリニック	郡山市	郡山事務所	
18		岡崎産婦人科	郡山市		
19		寿泉堂綜合病院	郡山市		
20		塚原産婦人科内科外科医院	郡山市		
21		トータルヘルスクリニック	郡山市		
22		太田西ノ内病院	郡山市		
23		星総合病院	郡山市		
24		総合南東北病院	郡山市		
25		古川産婦人科医院	郡山市		
26		国立病院機構　福島病院	須賀川市		
27		小森山産婦人科医院	須賀川市		
28	県南	片倉医院産科婦人科	白河市		
29		白河厚生総合病院	白河市		
30		塙厚生病院	東白川郡		
31		岩佐医院	茨城県久慈郡		福島県民のみリクルート
32	会津	舟田クリニック産科婦人科	会津若松市		
33		竹田綜合病院	会津若松市		
34		会津中央病院	会津若松市		
35		坂下厚生総合病院	河沼郡		
36	相双	あらき産婦人科クリニック	相馬市	福島本部事務所	
37		南相馬市立総合病院	南相馬市		エコチル調査リクルート中断
38		レディースクリニックはらまち	南相馬市		
39		西潤マタニティクリニック	南相馬市		
40		南相馬中央医院（旧：原町中央産婦人科医院）	南相馬市		
41		大町病院	南相馬市		
42		双葉厚生病院	福島市飯坂		
43		今村クリニック	双葉郡浪江町		
44		公立相馬総合病院	相馬市		
45	いわき	村岡産婦人科医院	いわき市	郡山事務所	
46		渡辺産科婦人科	いわき市		
47		かたよせウイメンズクリニック （旧：かたよせクリニック産科・婦人科）	いわき市		
48		NOBUマタニティクリニック	いわき市		
49		いわき市医療センター	いわき市		
50		森田泌尿器科（旧：森田泌尿器科産婦人科医院）	いわき市		
51		つくだ町産婦人科医院	いわき市		
52		月川レディースクリニック	いわき市		
53		佐藤マタニティー・クリニック	いわき市		

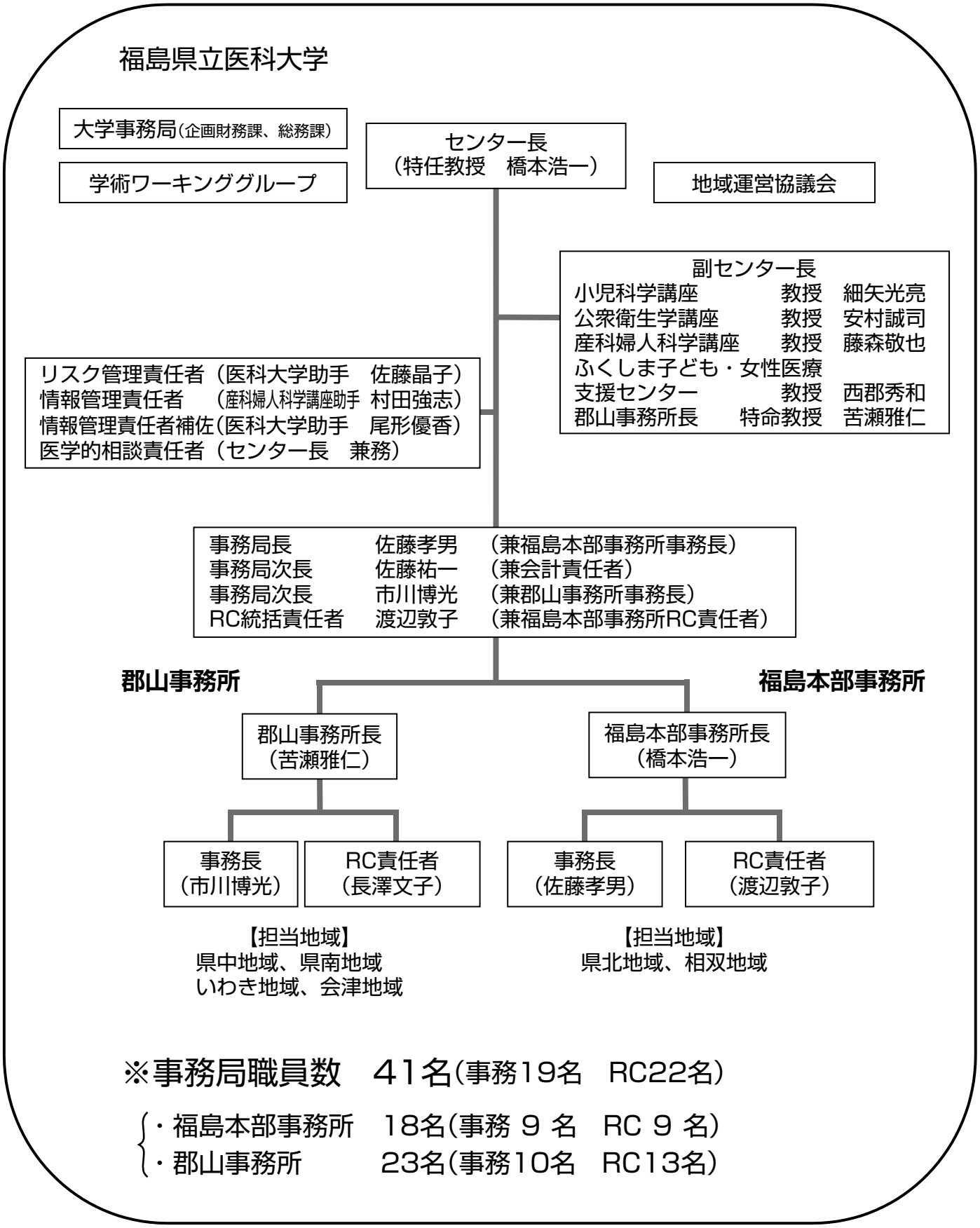
2）詳細調査協力医療機関および協力施設

	エリア	協力医療機関・協力施設名	所在地	担当		エリア	協力医療機関・協力施設名	所在地	担当
1	県北	公立藤田総合病院	国見町	福島本部事務所	18	県中	菊池医院	郡山市	郡山事務所
2		大原綜合病院	福島市		19		久米こどもクリニック	郡山市	
3		福島県立医科大学附属病院	福島市		20		じんキッズクリニック	郡山市	
4		おひさま子供クリニック	福島市		21		さかい小児科クリニック	郡山市	
5		いそめこどもクリニック	福島市		22		すみこしこどもクリニック	郡山市	
6		いちかわクリニック	福島市		23		国立病院機構　福島病院	須賀川市	
7		竹内こどもクリニック	福島市		24	県南	白河厚生総合病院	白河市	
8		武田小児科	伊達市		25		ねもとキッズクリニック	白河市	
9		土川内科小児科	二本松市		26		わたなべ子どもクリニック	白河市	
10	相双	公立相馬総合病院	相馬市		27	会津	竹田綜合病院	会津若松市	
11		菜のはなこどもクリニック	相馬市		28		坂下厚生総合病院	河沼郡	
12	県中	星総合病院	郡山市	郡山事務所	29		いとう子どもクリニック	会津若松市	
13		太田西ノ内病院	郡山市		30	南会津	福島県立南会津病院	南会津郡	
14		いいもり子ども医院	郡山市		31	いわき	いわき市医療センター	いわき市	
15		おおがクリニック	郡山市		32		森のこどもクリニック	いわき市	
16		おおのこどもクリニック	郡山市		33		子どもの家保育園	いわき市	
17		かわなこどもクリニック	郡山市		34		第二子どもの家M・A・Y	いわき市	

3）疾患情報登録協力医療機関（これまでにご協力いただいた医療機関）

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当		エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	県北	大原綜合病院	福島市	福島本部事務所	20	県中	今泉西病院	郡山市	郡山事務所
2		福島県立医科大学附属病院	福島市		21		公立岩瀬病院	須賀川市	
3		福島医療生活協同組合 医療生協わたり病院	福島市		22		国立病院機構　福島病院	須賀川市	
					23	県南	白河厚生総合病院	白河市	
4		福島赤十字病院	福島市		24	会津	竹田綜合病院	会津若松市	
5		公立藤田総合病院	国見町		25		会津中央病院	会津若松市	
6		こばやし子ども・内科クリニック	伊達市		26	いわき	いわき市医療センター	いわき市	
7		いそめこどもクリニック	福島市		27	県外	茨城県立こども病院	茨城県	福島本部事務所
8		すえなが内科小児科医院	福島市		28		公立昭和病院	東京都	
9		森小児科医院	二本松市		29		成育医療研究センター	東京都	
10	相双	公立相馬総合病院	相馬市		30		自治医科大学附属病院	栃木県	
11		すぎやまこどもクリニック	相馬市		31		順天堂大学医学部附属 練馬病院	東京都	
12	県中	寿泉堂綜合病院	郡山市	郡山事務所					
13		太田西ノ内病院	郡山市		32		新潟県立中央病院	新潟市	
14		星総合病院	郡山市		33		仙台医療センター	宮城県	
15		太田熱海病院	郡山市		34		仙台赤十字病院	宮城県	
16		総合南東北病院	郡山市		35		東北大学病院	宮城県	
17		南東北医療クリニック	郡山市		36		宮城県立こども病院	宮城県	
18		福島県総合療育センター	郡山市		37		山形大学医学部附属病院	山形県	
19		わんぱくさいとうこども医院	郡山市		38		東京北医療センター	東京都	

6　令和元年度福島ユニットセンター組織図（令和２年３月31日現在）



※事務局職員数　41名（事務19名　RC22名）

・福島本部事務所　18名（事務 9 名　RC 9 名）
・郡山事務所　23名（事務10名　RC13名）